

介護給付費準備基金の取崩し額について

準備基金の取崩し額は、第7期計画での介護保険料と同額の「6,500円」となる「702,000,000円」を事務局案とする。  
 減額した場合は、介護保険料が増額されるため、すべての市民へ負担増の影響がある。  
 増額した場合は、介護保険料が減額されるため、すべての市民へ負担減（最大：月額210円）の影響はあるが、これまでの残額としては、大規模災害等の不測事態へ備えるために20%程度としてきた。

準備基金取崩額による介護保険料への影響額（分析結果）

